

弾道ミサイルが着弾した場合、

激しい爆風や破片などにより、

身体へ大きな被害を受ける可能性があります。

爆風



※イメージ

破片



※イメージ

爆風や破片などから身を守るため、
状況に応じた避難行動をとることが大切です！

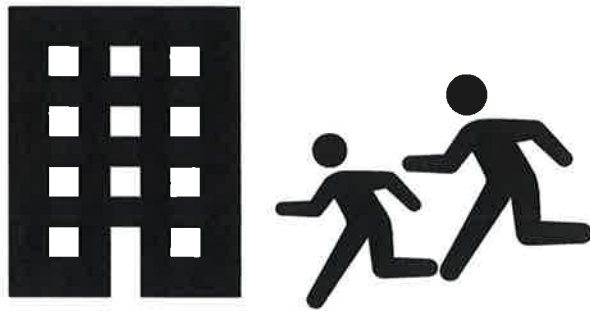
とるべき行動については裏面をご覧ください▼

弾道ミサイルが日本に飛来する可能性がある場合には、**Jアラート**を通じて**緊急情報**を流します。

- ① 屋外スピーカーなどから国民保護サイレンとメッセージが流れます。
- ② 携帯電話やスマートフォンに緊急速報メールなどが届きます。

屋外にいる場合

【爆風や破片などを避ける】



近くの建物の中（できれば頑丈な建物）
または **地下へ**

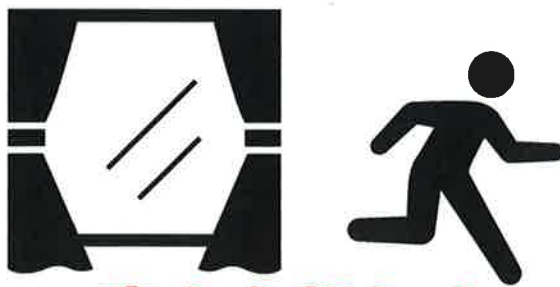
もしも、近くに建物がない場合は



物陰に身を隠す
または
地面に伏せ
頭部を守る

屋内にいる場合

【爆風で割れた窓ガラスなどを避ける】



窓から離れる
または **窓がない部屋へ**

このパンフレットは、避難行動の必要性和最低限知っていただきたい避難行動を周知することを目的に制作しております。

詳しくは、[内閣官房国民保護ポータルサイト](#)へ▶

国民保護

検索

2018.4 作成



聞いてみよう
おうちの人やまわりの大人と話してみよう!
 おうちの人や学校の先生など、大人の人と一緒に身を守るための方法や避難する場所について、話し合ってみよう。

● **ミサイルが飛んできたら、どうやって知らせられる?**

外にあるスピーカー、スマートフォン……など具体的に書いてみよう

● **おうちの中にいるときはどこに避難する?**

ごはんを食べる部屋、寝る部屋……など具体的に書いてみよう

● **学校にいるときはどういう行動をとる?**

授業中、校庭で遊んでいるとき……など具体的に書いてみよう

● **登下校中は、どこにひなんする?**

近くに逃げ込める建物があったら、何もなかったら……など具体的に書いてみよう

※そのほか、普段よく行くところに行ったらどうしたらいいのかを考えてみよう

知っておこう!

ミサイルが飛んできるときには どうやって身を守る?

ミサイルは、ある日突然飛んできてもおそれない。
 もしもミサイルが飛んできたら、何をすればいいか、自分の身を守るための避難の方法をみんなでおぼえよう!

考えてみよう



**ミサイルが飛んできたら、
 どんなことが起こるのかな?**



爆発で強い風が吹いて、
 外にいたら飛ばされてしまうかも。
 ミサイルのかけらが飛んでくるかも。

窓ガラスが割れて飛んでくるかも。
 おうちの中にも、注意が必要だね。



ミサイルが飛んできるときにどうしたらいいかを見てみよう



ミサイルが飛んでくるときには
「Jアラート」が知らせしてくれるよ!

- 外にあるスピーカーなどから、サイレンの音やメッセージが流れる
- 携帯電話やスマートフォンにメールが届く

もしもJアラートが流れたら...



外そとにいるときは
(学校に行く途中や公園で遊んでいるときなど)

強い風やかげらを避けるために建物の中に入る



すぐに建物の中や地下へ避難できないうときには、
物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭を守る



建物たてものの中なかにいるときは
(おうちの中や教室など)

窓ガラスが割れて、けがをすることもれないから窓から離れよう



身を守る姿勢をとろう



学校がっこうにいるときには、先生せんせいのいう
ことをよく聞いて身を守る

弾道ミサイル攻撃を受けたとき 明暗を分けるのは避難行動

弾道ミサイルが着弾した場合、激しい爆風や破片などにより、身体へ大きな被害を受ける可能性があります。爆風や破片などから身を守るため、状況に応じた避難行動をとることが大切です！



※イメージ

屋外にいる場合

爆風や破片などを避ける

近くの建物の中
(できれば頑丈な建物)
または 地下へ

もしも、近くに建物がない場合は

物陰に身を隠す
または
地面に伏せ頭部を守る

屋内にいる場合

爆風で割れた窓ガラスなどを避ける

窓から離れる
または
窓がない部屋へ

よくあるご意見と回答

Q1

Jアラートが流れた後に避難を始めても手遅れでしょう？

A. 避難行動にかけられる時間は限られたものですが、それでも、近くの建物の中や地下へ避難する、物陰に身を隠すなど、わずかな時間でもできることはあります。

Q3

地面に伏せる、頭部を守る……。それで、ミサイル攻撃から身を守れるとは思えません

A. 横(水平)方向に広がる爆風や飛散する破片等に対して身体の衝突面を極力減らすことが重要なので、避難行動をとらない場合と比べれば被害を軽減できる可能性を高めることができます。

Q2

近所には、丈夫な建物も地下もなく、避難できるところがありません

A. 横(水平)方向に広がる爆風や飛散する破片等に対して身体の衝突面を極力減らすことが重要なので、木造住宅へ避難するだけでも、避難行動をとらない場合と比べて被害を軽減できる可能性が高まります。

Q4

避難したところで、弾道ミサイルが直撃したら何をやっても無意味では？

A. 弾道ミサイルによる被害の程度は、その威力などによりさまざまであり一概には言えませんが、地下への避難などの適切な避難行動をとることで、避難行動をとらない場合と比べて被害を軽減できる可能性を高めることができます。